

# 宮崎県感染症週報

宮崎県感染症情報センター  
宮崎県健康増進課  
宮崎県衛生環境研究所

## ■ 宮崎県第 29 週の発生動向

定点医療機関からの報告総数は 693 人（定点あたり 21.9）で、前週比 77%と減少した。

先週に比べ多かった主な疾患は咽頭結膜熱で、例年に比べ多かった主な疾患は手足口病と流行性耳下腺炎であった。

咽頭結膜熱の報告数は 27 人（0.75）で前週比 169%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値（1.1）の約 7 割である。日南（4.3）保健所からの報告が多く警報レベルを超えている。年齢別では 6 ヶ月から 4 歳で全体の約 8 割を占めた。

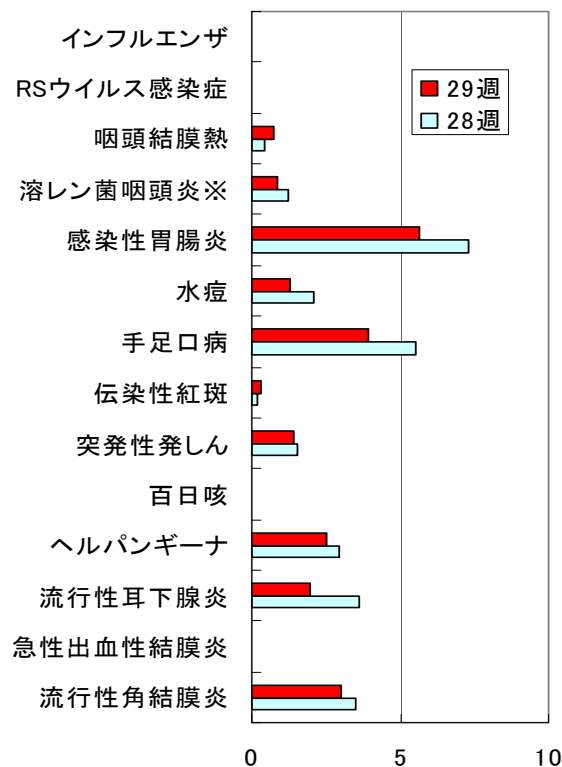
手足口病の報告数は 142 人（3.9）で前週比 71%と減少したが、例年同時期の定点あたり平均値

（2.8）の約 1.4 倍と多い。中央（10.0）、日南（7.0）、日向（5.3）保健所からの報告が多く警報レベルを超えている。年齢別では 1 歳から 3 歳で全体の約 7 割を占めた。

流行性耳下腺炎の報告数は 71 人（2.0）で前週比 54%と減少したが、例年同時期の定点あたり平均値（1.8）の約 1.1 倍と多い。日向（8.8）保健所からの報告が多く警報レベルを超えている。年齢別では 2 歳から 6 歳で全体の約 7 割を占めた。

無菌性髄膜炎 1 人が日南保健所から報告された。患者は 2 ヶ月の女児。

《前週との比較》



《定点あたり報告数》  
※A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

## ■ 保健所別流行警報開始基準値超過疾患

	流行警報 開始基準値	定点あたり報告数		年 齢 分 布
		宮崎県全体	基準値を超えた保健所	
咽頭結膜熱	3	0.75	日南（4.3）	6ヶ月～4歳で全体の約8割を占めた。
手足口病	5	3.9	中央（10.0）、日南（7.0）、日向（5.3）	1歳～3歳で全体の約7割を占めた。
ヘルパンギーナ	6	2.5	日南（7.0）	1歳～2歳で全体の約6割を占めた。
流行性耳下腺炎	6	2	日向（8.8）	2歳～6歳で全体の約7割を占めた。

## ■ 全数把握対象疾患

- 1 類感染症 : 報告なし。
- 2 類感染症 : 結核 3 例が宮崎市 (2 例)、日南 (1 例) 保健所から報告された。  
《宮崎市保健所》・30 歳代の男性でその他の結核 (結核性髄膜炎)。頭痛、嘔気、しゃっくりがみられた。  
・80 歳代の女性で肺結核。咳がみられた。  
《日南保健所》・7 ヶ月の女児で肺結核。咳、痰がみられた。
- 3 類感染症 : 報告なし。
- 4 類感染症 : 報告なし。
- 5 類感染症 : 報告なし。

## ■ 全国第 28 週の発生動向

定点医療機関あたりの患者報告総数は 20.7 で、前週比 100% であった。今週増加した主な疾患はヘルパンギーナで、減少した主な疾患は水痘と A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎であった。

ヘルパンギーナの報告数は 19,653 人 (6.5) で、前週比 112% と増加した。例年同時期の約 1.7 倍である。富山県 (12.4)、宮城県 (12.0)、神奈川県 (11.6) からの報告が多く、年齢別では 1 歳から 5 歳で全体の約 8 割を占めた。

手足口病の報告数は 11,892 人 (3.9) で、前週比 102% とほぼ横ばいであった。例年同時期の約 2.1 倍である。高知県 (13.3)、大分県 (9.4)、新潟県・静岡県 (各 8.2) からの報告が多く、年齢別では 1 歳から 5 歳で全体の約 8 割を占めた。

## □ 全数把握対象疾患

- 1 類感染症 : 報告なし。
- 2 類感染症 : 結核 291 例
- 3 類感染症 : 腸管出血性大腸菌感染症 123 例
- 4 類感染症 : A 型肝炎 3 例、オウム病 1 例、つつが虫病 2 例、デング熱 4 例、日本紅斑熱 1 例、マラリア 2 例、レジオネラ症 11 例
- 5 類感染症 : アメーバ赤痢 11 例、ウイルス性肝炎 3 例、急性脳炎 2 例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症 3 例、後天性免疫不全症候群 12 例、ジアルジア症 1 例、梅毒 12 例、破傷風 2 例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症 2 例、風疹 2 例、麻疹 14 例

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2010年 第29週(07月19日～07月25日)

疾病名		第28週	第29週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	3										
	定点あたり	0.08	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	16	27	2	3	2	13		7			
	定点あたり	0.44	0.75	0.20	0.50	0.50	4.33	0.00	1.75	0.00	0.00	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	44	32	8	2	10	3	2	7			
	定点あたり	1.22	0.89	0.80	0.33	2.50	1.00	0.67	1.75	0.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎	報告数	263	204	34	49	11	16	48	15	4	26	1
	定点あたり	7.31	5.67	3.40	8.17	2.75	5.33	16.00	3.75	4.00	6.50	1.00
水痘	報告数	75	46	15	9	4	5	2	7	1	3	
	定点あたり	2.08	1.28	1.50	1.50	1.00	1.67	0.67	1.75	1.00	0.75	0.00
手足口病	報告数	199	142	45	18	15	21	1	10	1	21	10
	定点あたり	5.53	3.94	4.50	3.00	3.75	7.00	0.33	2.50	1.00	5.25	10.00
伝染性紅斑	報告数	6	10		5			5				
	定点あたり	0.17	0.28	0.00	0.83	0.00	0.00	1.67	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	56	50	17	15	4	2	2	6	1	3	
	定点あたり	1.56	1.39	1.70	2.50	1.00	0.67	0.67	1.50	1.00	0.75	0.00
百日咳	報告数		1				1					
	定点あたり	0.00	0.03	0.00	0.00	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	106	91	5	12	23	21	6	8		16	
	定点あたり	2.94	2.53	0.50	2.00	5.75	7.00	2.00	2.00	0.00	4.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	131	71	8	3	19		2	2	1	35	1
	定点あたり	3.64	1.97	0.80	0.50	4.75	0.00	0.67	0.50	1.00	8.75	1.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	21	18	16	2							
	定点あたり	3.50	3.00	5.33	1.00	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数		1				1					
	定点あたり	0.00	0.14	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数  
下段:定点当り報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2010年第1週～第29週)

2類感染症	結核	109例(3)			
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	24例			
4類感染症	E型肝炎	1例	A型肝炎	3例	つつが虫病
	マラリア	2例	レジオネラ症	1例	
5類感染症	アメーバ赤痢	1例	ウイルス性肝炎	7例	急性脳炎
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1例	後天性免疫不全症候群	3例	梅毒
	破傷風	3例	麻しん	1例	

( )内は今週届出分、再掲

こども感染症情報

**プール熱（咽頭結膜熱）が増えてきました。（7月19日～7月25日）**

夏休みも始まりこれからプールに入る機会も増えます。そこで注意したい感染症のひとつにプール熱（咽頭結膜熱）があります。夏にプールでうつることが多いためこのような名前がついていますが、急性のウイルス性感染症です。夏かぜの一種なのでプールに入らなくてもかかることがあります。

小児に多い病気で、38度から39度の熱が4～5日続き、のどの痛み（咽頭炎）や目の炎症（結膜炎）がおこります。小さな子どもたちでは、嘔吐や下痢といった症状が出ることもあります。

例年、6月頃から徐々に増え始め、7月から8月が流行のピークとなります。今年は、まだ感染者は多くありませんが、これからプールに入る機会が増えると、流行するおそれがあります。

プールに入る前には、十分に体を洗って入りましょう。また、あがったときにも、シャワーで体を洗い、目洗い、うがいをして予防に心がけましょう。また、家族に患者がいる場合にはタオルを一緒に使うのは避けましょう。

その他、手足口病が国富町、日南市、日向市周辺、ヘルパンギーナが日南市周辺、おたふくかぜが日向市周辺でそれぞれ流行していますので注意しましょう。